

平成29年度 豊かなむらづくり全国表彰事業 東北ブロック受賞事例の概要

【東北農政局長賞】

ウニでつながる地域の絆

受賞団体：「宿戸地区」（岩手県洋野町）

◆むらづくりの背景・経緯

洋野町は、青森県と接する岩手県沿岸の最北端に位置している。海岸は単調な隆起性の段丘海岸になっており、地先海底は遠浅な平岩盤地帯で、干潮時には岸から200メートル沖まで干出する特徴を持つ。「宿戸地区」は洋野町の沿岸部の中ほどに位置し、丘陵が広がる高台に集落が形成され、地縁的な繋がりが強い中山間地域である。

「宿戸地区」は、昭和50年代に整備した増殖溝を活用した品質の高いウニの生産に早くから取り組み、漁業を地区の産業として発展させてきた。

しかし、収入の減少や担い手の不足により、漁業を中心とした地区が衰退していくことが懸念されたため、地区のリーダーたちは、ウニ直売会の目的やウニを中心とした地区活性化の将来のビジョンを粘り強く説明し合意形成を進め、平成17年にウニ直売会を初開催し漁業を中心としたむらづくりに取り組んだ。

◆むらづくりの内容

○漁業生産面

増殖溝を整備し、ウニを地域ぐるみで守り、育て、収穫する栽培漁業への取組は、安定した漁獲量や高品質化につながっており、漁家の所得も向上している。



増殖溝

ウニの直売会などによる直販を通じて、所得の向上につながるるとともに、販路開拓、都市住民との交流、メディア等を活用した情報発信強化などにもつながっている。また、震災時にはいち早く漁船等の復旧に取り組み、生産活動を再開させるとともに、ウニの種苗生産施設のガレキ撤去等を行い、地区のみならず県全体の栽培漁業の復興に大きく貢献した。



地区住民による津波被害ガレキ撤去

○生活・環境整備面

直売会や朝市では、女性漁業者が加工や販売を担当しており、女性の所得向上や生産意欲の向上につながっている。また、地元小学生のウニ漁獲体験や、地元中学生の販売体験学習等により次世代の担い手確保にもつながっている。

平成19年から行っている植樹祭は、小学生やその父母も参加するなど、地区をあげた活動であるとともに、地区住民が価値観を共有し、豊かな海を守る意識が醸成される取組みにもなっている。



「ウニの森づくり植樹祭」の様子